学校・サークル演劇

一幕物脚本集　四巻

しろかね劇作会編

青雲書房

学校・サークル演劇

一幕物脚本集

四　　巻

しろかね劇作会編

学校・サークル演劇
一幕物脚本集　四巻　　定価 300円

昭和43年3月20日　改訂初版発行
昭和45年4月1日　再版発行

編者　しろかね劇作会
発行者　川原昇
印刷所　殖産堂
　　　　伊藤喜通

発行所　青雲書房
東京都文京区大塚 3—20—4
電話　東京 (944) 6002番

(分) 1074 (製) 1004 (出) 3955

もくじ

山小屋……永六輔……一
演出ノート……一七
母と娘……津留達児……二一
演出ノート……五五
おれたちの苗木……高見沢文江……五七
演出ノート……八六
草の指輪……近藤若菜……九九
演出ノート……一二四
野菊……日野暁子……一二七
演出ノート……一五五
白鳥……田井洋子……一五七
演出ノート……一八一
上演許可願

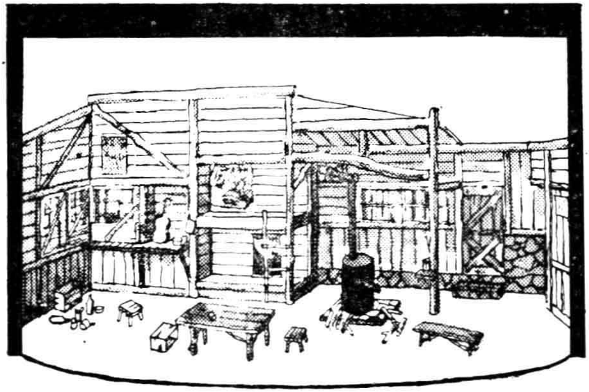
山　小　屋

一　幕

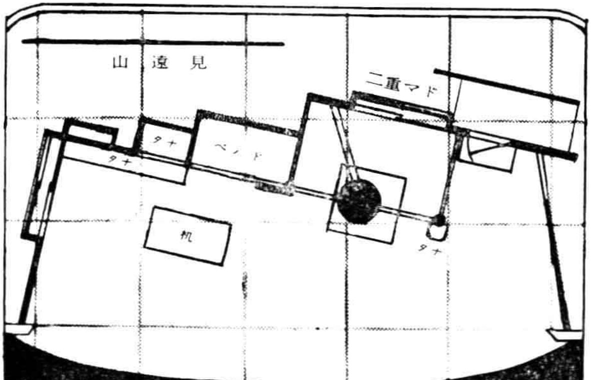
永　六　輔

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongboo

2



ホ リ ゾ ン ト



3　山小屋

登場人物

瀬　川（女学校時代のスキー部員）
原　　（同）
佐々木（同）
黒　沢（同）
本　田（同）
榎　本（同）
瀬川ヒサ子（瀬川の妹）

場　所

〇〇スキー場のヒュッテ
夕刻から夜にかけて……
幕があくとスキー小屋の内部

舞台上手よりに二重になっている出入りのドア。中央はドラム罐を改造したルンペン・ストーブ、その後方に、二段になっているベット、下手よりには大きく窓が切られて、見通しのきく場所にテーブルがおいてある。

小屋の壁には、スキー場のポスター、時間表、規則書そして宿泊者名簿がさがっている。

幕あき遠くの方からかすかに女たちのはしゃぐ声が風に乗って来る。

（ヤッホーなど）

女達の声が近づいて来る。

雪の吹きつけた下手窓ガラスの一ツから顔がのぞく。瀬川の妹である。外側から手袋で雪をかきおとして中をのぞきこむ感じ……。

瀬川（妹）　ヤッホー！誰も居ないよォー！姉さん！
　誰もいない！

この声に女達、次々と窓に姿を現わして来る、とまもなく上手のドアがあけられ、一同ゾロゾロと飛びこんで来る。スキーをそれぞれ片

づけ乍ら

瀬川　ヨシ今夜はここで一休みだ。

佐々木　ヒェーッ！　疲れた！

榎本　汗が冷えるといけないから早くストーブをつけた方がいいよ。

本田　靴ずれが痛い！

瀬川　おい、小児科！

榎本　え！

瀬川　靴ずれだってさ。

榎本　靴ずれは小児科じゃないよ。

本田　小児科はヘントウ腺だよね！

黒沢、本田に近づくと

黒沢　そうだ、思い出した。貴女、ストーブのお当番をずっとやっていたわね。

佐々木　ハイ（とマッチを渡し）ストーブのお当番。

本田　卒業して十年近いのにまだお当番？

瀬川　賛成、同窓会としてはシステムは昔のままの方が楽しいわ。私、級長だったわね！

瀬川（妹）　家の姉さまは都合のいいことしか賛成しないっていういい例よ。

原　それでなきゃ、バーのマダムなんかつとまらないわよ。

どうやらストーブの火がついた。

本田　薪が足りないわ。

佐々木　この小屋の裏に沢山積んであったわ。

瀬川　（妹に）チャコ行っといで！

瀬川（妹）　アラァ……。私くたびれちゃった。姉さん達の十倍もすべったんだもん。

瀬川　だって働くって言うから特別に連れて来てあげたんじゃない、いわば小間使いよ……。

原　あら、小間使いはかわいそうよ、ねェ、チャコ…

瀬川（妹）　ねェー！
瀬川　いいわよ、頼まない！（と怒ったふり）
瀬川（妹）（甘える）ううん、頼んでェ！
瀬川　頼まない、姉さんがとって来る。
瀬川（妹）　取って来ようッと！

　と飛び出して行く。

原　相変らず可愛いらしいわね。連れて来てよかったんじゃない、にぎやかで……。
瀬川　同窓会なんだから遠慮しろって言ったのに、原さん達が誘うもんだから、図にのってついて来ちゃって。
原　いいのよ、みんな自分の妹だと思っているんですもの、ねエ（と一同をうながす）
佐々木　そう！　私の妹よ。
黒沢　アラ、私のよ！
本田　アラ、私でなきゃ、彼女に気の毒だわ。
榎本　フフ、この間、私の妹、つまり彼女があなたの事を何て言ったと思う？
本田　〃一番お姉さまらしい人〃
榎本　とんでもない！
瀬川　私、知ってるわ。〃鼻のオバサマ〃ですってさ！
本田　まあ！　ひどい！

　一同大笑い！
　佐々木、壁に下がってるノートをみつけ

佐々木　お、宿帳だ。
瀬川　宿帳？　宿泊者名簿じゃない。
佐々木　この小屋で休む方、泊る方は御記入下さいだってさ。
瀬川　へエー　じゃ書かなきゃ。

　瀬川、佐々木からノートを受けとると

瀬川　住所、氏名、職業、目的、行先、天候、積雪……へエー詳しく書き込むんだなァー。
原　（のぞきこんで）三月三十一日五時　東大スキー部五名　代表前田武彦、目的インターカレッジのための強化合宿、行先赤倉、天候曇天、風強し、三本松から狼谷にかけては特に視野悪く遭難、要注意……危うく遭難。要注意……こわいわ。
黒沢　三本松って今、通って来たんじゃない。
佐々木　そうよ。
本田　遭難なんかするの？　ここ！
黒沢　するわよ！　いいじゃない、スリルがあって。
本田　いやだわ。どうしてこんなところへ連れて来たの？
榎本　来ちゃったんだから仕様がないでしょ。
瀬川　ハイハイ。一寸静かに！　四月一日五時、スズラン高女クラス会っていうより、スキー部ＯＧ会ね。瀬川キヨ子、マダム。原虹子、主婦。佐々木滝子、出戻りセコハン娘。黒沢千賀子、三流デザイナー。本田美子、婦人団体理事。榎本薫、小児科。

瀬川（妹）薪を持って来る。

瀬川（妹）　はい！　これ乾かさなきゃもえないよ！
佐々木　ＯＫ！　乾かそう！
瀬川　エート瀬川チャコ、これは学生。天候はよしと……

瀬川、ノートをもとの様にかける。
佐々木は薪をストーブのまわりに並べて乾かし始める。

瀬川（妹）　サア、もっと持って来ようかな。
黒沢　余り働くなよ。手伝わなきゃならない。
佐々木　チャコの彼氏も小間使いに連れて来りゃ良かったな。
瀬川（妹）　アラ、私の彼氏はヒョロヒョロで……

瀬川　アラ、チャコ、彼氏がいるの？
黒沢　知らぬは姉さんばかりなりってね。銀座で良くアベックしてるわよ。（一同ひやかす）
瀬川（妹）　知ーらない！　薪を持って来る！

　瀬川（妹）飛び出して行く。

原　サア、私も薪運びのお手伝いするわ。
瀬川　いいのよ、休んでいらっしゃい。
原　だって、私はそういう仕事の方が性にあってるの。どうもスキーで遊ぶなんて。
榎本　オヤオヤ世帯ジミちゃったこと、かってのスキー部のキャプテンがねェ。
佐々木　じゃ原さんには食事の仕度をして貰いましょう。（黒沢に）お黒、行こう！
黒沢　アラ、どうして？
佐々木　どうしてじゃないよ。沢山持って来ておいた方が安心出来るからさ。
黒沢　でも、私のスキー服は薪運びには適さないデザインなのよ。このデザインはストックを構えた時の胸から胸にかけての線を強調して、より女性的な……
佐々木　はい、はい、はい。あんたのデザインは解説がつかなきゃわからないって評判よ。
黒沢　まあ、そんなこと言っていいの？　来月号のニューファッションのグラビヤが見せたいわ。黒沢デザイナーが贈る春の散歩服！
本田　また、エッフェル塔が背景になってるんでしょ。
黒沢　そうよ、パリのエッセンス！
本田　ねェ、私達の婦人生活向上連盟ねェ！　私が理事をやってる……。会議の時にいつも主婦のファッションといった話題が出るんですけど……。
黒沢　いいわね、主婦の為のデザイン。
本田　背景にはオムツが干してあって……
黒沢　オムツ？
本田　そうよ、生活に密接に結びついたデザインが欲

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongboo

しいの。

黒沢　……オムツねェ……

榎本　パリのオムツにすりゃ、アイデアが出るさ。

　　そこへ瀬川の妹、薪を抱えて来る。
　　外はすでに暗く月の光が雪に青い。

瀬川（妹）　パリのオムツってなあに？

佐々木　お黒の新しいデザインなんだって。

原　御苦労様、大変だったでしょ。

瀬川（妹）　ウウン月がとってもきれいなの。もう一度行って来る。

佐々木　私も行くよ。

瀬川（妹）　ねェ、パリのオムツって……

　　佐々木は瀬川（妹）と出て行く。

瀬川　さ、ファッションの話は打ち切りにして食事の用意をしましょう。

本田　ねェ、私一寸横にさせて下さらない？　ひどい疲れなの。

原　いいわよ、どうぞどうぞ。

本田　雪の山のクラス会なんて若いうちよ。いくらスキー部のOGでも無理だわ。

黒沢　そうね。はしゃいでいるうちはいいかもしれないけれど、東京に帰ったら、キット仕事も出来ないわよ。

本田　クラス会の疲れ休みに、また温泉にでも行く始末だわ。

原　さあさあ、じゃ二人とも寝なさい。

本田　銀座のレストランなら……

榎本　もういいじゃない、来る前に反対しなかったくせに！　明日山を降りたら、ブドウ糖でも射ってあげます。

　　本田と黒沢は横になる。
　　原は終始控え目な世話好きな感じで、ナイロ

ンの風呂敷を食卓がわりに敷く。
瀬川は大きな動きで小屋の中の整理に忙がしい。榎本は二人の手もとを見ているがする事がないので

榎本　私も薪を持って来ようかな。

榎本は歌いながら出て行く。
原がこまごまとリュックの中から食糧品を取り出している。本田と黒沢は疲れが出たのか居眠りを始める。瀬川、ぬれたものを（アノラック、手袋……）天井のロップにかけ乍ら

瀬川　原さん、卒業する春、蔵王に行ったの、覚えてる？

原　えエ！　今でも時々写真を見て！（吹き出す）

瀬川　あの時のツアーも、このメンバーだったわね。

原　そうねェ、こうして、又、ここに揃っちゃうなんて……来てよかったわ！

瀬川　原さんはいい奥さまになっちゃったから出て来られないだろうって言ってたの。

原　でも……私みたい完全に家庭の中に入っちゃうと……母としての仕事以外は自分でおどろくほど出来なくなっちゃうものよ。ましてスキーなんか……でも嫁入り道具の一つではあったのよ。

瀬川　そうでしょうね。バーのマダムには想像もつかないわ、この人はデザイナーだし、（と黒沢を指し）こちらは婦人団体の理事、あとはお医者様……原さんが一番いいわ。

原　そうかもしれない。子供達は可愛いし、今年中学の試験なの！　心配よ、とても。

瀬川　大丈夫よ！

原　数学と歴史はクラスでもいい方だし、でもどういうわけだか英語がねェ……

瀬川　うん、ウチの妹が英語が出来れば家庭教師にやとってもらうんだけど、ジャズの英語以外は分ら

ないのよ。

黒沢、ポカンと起きて

黒沢　フランス語なら教えてあげるよ。

立ち上ってキョロキョロ。

瀬川　何してんの？
黒沢　へへへ……こういうとこには無いかもしれないな。
瀬川　何が？
黒沢　あんたんとこのバーなら、カウンターのつき当り！
瀬川　あァ！
黒沢　ウン！　無いね！　寒いなコリャ……。

黒沢、外へ出て行く。

瀬川、原、顔見合わせて吹き出す。
佐々木と榎本が薪を持って戻って来る。

佐々木　これ丈あれば今夜は充分。
榎本　どっこいしょと……

二人はストーブのそばの薪の箱に薪を入れると、ストーブに手をかざして

榎本　寒いわ、外！
瀬川　チャコは？
佐々木　若いと違うわね、夜間スキー。
瀬川　今頃？
榎本　月がきれいなの！
原　でも、山の天候は変り易いから余り遠くへでも行って……
佐々木　大丈夫よ、わかってるでしょ、その位……

黒沢が悲鳴をあげ乍ら飛びこんで来る。

黒沢　ヒィーッ！　寒い寒い寒い、今度はこういう時に寒くないデザインを工夫しなきゃ！

原と瀬川、又笑い出す。

佐々木　何の事だい、お黒。

黒沢、困って笑いながら佐々木、榎本に囁く。

原　さ、食事食事！　まず、固形スープで体を温めて、コッフェル出さなきゃ……

瀬川　そうね。

黒沢　議長提案！

黒沢、手をあげる。

原　ハイッ黒沢君！

黒沢　食事の前に（酒を飲むゼスチュア）コレ！

榎本　オ！　賛成！　医学的に賛成！

原　だってお酒なんか……

黒沢　あるよ。

榎本　私も持って来た！

佐々木　へへ、私も！

瀬川　じゃ乾杯しよう！　第何回だったっけこのクラス会は……エー‥（と数え始める）

原コップを出す。その間に一同ウィースキーの用意。

瀬川　いいや何回でも。

本田を起こそうと、瀬川そばに立つ。いつの間にかアノラックを頭からかぶってる本田。

瀬川　本田さん！　乾杯ですよ！　起きなさい！
原　本田さん、ウィスキーがあるんですよ！　ウィスキー！

本田むくむくと半身を起こす、目がトロンとしている。すでにアノラックの下でウィスキーを飲んでいたのである。

本田　ウィーッ！
瀬川　あ、ひどいな！
本田　大丈夫よ、酔ってないわ、さ、じゃ乾杯しましょ。チャコちゃん。チャコちゃんは？
原　一寸、外出……
本田　いない？　いないならいい、未成年者の前では飲みたくないですからね。私は婦人生活向上連盟、略して婦生向連盟……アラ略さない方がいいわね、とに角……
佐々木　わかった、わかった！
黒沢　早く飲みましょうよ。
瀬川　では乾杯！

榎本、小屋の隅からギターを持って来る。ギターの裏に書いてあるものを読みながら。

榎本　〃コノギターハ、ミンナノギターデス、ヤマノオモイデノタメニ……〃
ヘエ、この小屋のギターだ。山の道徳はこれだからいいなァ……盗む様な奴は一人もいないんだ。

榎本、ギターをかまえてかきならす。静かに歌い出す。一同、音楽に気が付き静かに聞きながら楽しそう。女学生にかえって野次がとぶ。榎本が歌っている間にだんだん風が強くなって来る。

榎本歌い終る。一同拍手。

黒沢　もっと景気のいいのをやろう！
スズラン高女スキー部々歌！

佐々木　忘れちゃったよ！　校歌だってロクにおぼえてやしない！

黒沢　じゃよその学校の校歌、慶応大学どう？

瀬川　早稲田、早稲田。

原　そうだわ瀬川さん、あのピッチャーどうした？

瀬川　戦死しちゃったわ。まだずい分昔のことを思いだしたのねェ！

佐々木　よく応援に行ったわね。今だったらプロのスカウトに狙われて一千万位、イタダキよ！

黒沢、榎本、本田と慶応の応援歌を歌いだす。これに負けじと瀬川、原、佐々木は早稲田の応援歌を歌い出す。
この間に強くなった風の音が窓を叩き始める。
一同歌い乍ら天候の急変に気がつき始めた時、入口のドアが風にバッタンと大きな音をたてる。原が内側からシッカリと閉め直すと

原　大丈夫かしらチャコちゃん。

佐々木　もう帰って来るでしょ。

瀬川、心配そうに窓のそばへ寄って、外を見る。原もその後に立つ。
一同、ストーブのまわりに集まり乍ら。

黒沢　もしかすると遭難したんじゃないかしら

榎本　まさか！

佐々木　冗談にもそんなこと！

一同黙りこむ。汽車の時間表を見つけた本田

本田　ねェねェ、明日の帰りの汽車だけど、これどうかしら、食堂車がついてるわ！　何時発だか……一寸ランプ明るくして！

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongboo